

令和 5 年 6 月 27 日現在

機関番号：32606

研究種目：基盤研究(B) (一般)

研究期間：2018～2020

課題番号：18H00724

研究課題名(和文)中国近代の宗教間対話：「五教合一」論の登場とその歴史的背景

研究課題名(英文) Dialogues among Religious Groups in Modern China: Universalism and its Historical Background

研究代表者

武内 房司 (TAKEUCHI, Fusaji)

学習院大学・文学部・教授

研究者番号：30179618

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 6,600,000円

研究成果の概要(和文)：近代中国においては、さまざまな形で諸宗教間の対話が行われたが、注目されるのは道院や同善社などの新興宗教団体が唱えた儒教・仏教・道教に加えてキリスト教やイスラム教の統合を説くいわゆる五教帰一論であった。本プロジェクトは、東南アジア華人社会や植民地期ベトナム、英領マラヤにおける宗教運動を具体的事例としてとりあげ、中国本土の宗教運動との連続性やその独自性にも留意しながら検討を加え、五教帰一論に代表される宗教的ユニヴァーサルイズム論が登場する歴史的背景を明らかにした。

研究成果の学術的意義や社会的意義

本研究プロジェクトにおける主要な成果は、東南アジア華人社会において宗教運動の果たした社会的役割に光を当て、1930年代に入り、道院などによる五教帰一論が登場する前提として、儒教・仏教・道教の三教合一型の宗教運動が19世紀後半から東南アジア華人社会に浸透していたこと、そうした三教合一運動をベースとしつつ、植民地期において、さまざまな普遍主義的理念と対話・交流を重ねる中で五教帰一論が登場していったことを明らかにしたことにある。

研究成果の概要(英文)：In modern China, dialogue among various religions took place in various forms, but the most noteworthy was the so-called "five religions' unification" theory, which advocated the integration of Christianity and Islam in addition to Confucianism, Buddhism, and Taoism, as advocated by new religious groups such as the Daoyuan and Tongshengshe. This project takes up specific examples of religious movements in Southeast Asian Chinese societies, colonial Vietnam, and British Malaya, and examines them with attention to their continuity with religious movements in mainland China as well as their uniqueness, in order to clarify the historical background of the emergence of the theory of religious universalism as represented by the theory of "five religions' unification".

研究分野：東洋史

キーワード：五教帰一論 三教合一運動 道院 先天道 マレーシア ベトナム

1. 研究開始当初の背景

本研究代表者は、フィールドワークによる資料収集や各地に残る宗教関連アーカイブズを掘り起こす作業を重ねるなかで、従来強調されてきた対立・抗争の歴史にかわる、中国の伝統諸宗教とキリスト教やイスラームとの宗教間対話や相互理解の諸相を明らかにすることも重要な課題であると認識するようになった。とくに、1920年代に入って展開した、新宗教運動において儒教・仏教・道教・キリスト教・イスラームが本来一つであるとする、単なる融合論を超えた、いわゆる「五教合一」ないし「万教帰一」論などの宗教的ユニヴァーサルイズム論がどのような歴史的コンテクストの中で提起されていたのかを明らかにする必要があると考えるに至った。

2. 研究の目的

本プロジェクトにおいては、以下の課題の解明を目指すこととした。

(1) 中国近代に活性化した諸宗教の交流・相互認識に光をあてることである。従来、中国近代史においては、諸宗教の活動が個別に研究されてきたが、本プロジェクトでは、諸宗教の交流・相互理解のあり方を検討しようとした。その際、近代に五教合一論を説いた道院などの新興宗教団体に着目し、そうした宗教的世界観が登場する歴史的背景を検討したいと考えた。(2) 近代の新興宗教団体の活動は、中国本土のみならず、海外の華人社会、とりわけ東南アジア諸地域に広がっている。戦後、大陸での活動が閉ざされる中、布教が認められた東南アジアにおいては今日においてもその活動を継続している場合が少なくなく、フィールドワークやインタビューを通じて、宗教運動とその歴史の内在的理解を目指した。

3. 研究の方法

今回のプロジェクトでは、未発掘の宗教文献や未公開文書の調査に力を入れた。とりわけ、東南アジア華人社会には、従来利用されることのなかった多くの宗教文献がそれぞれの教団の宗教施設に残されており、近代の新興宗教団体の布教活動とその展開、歴史を掘り起こす上で重要な史料を提供している。加えて、ベトナムなどのように近年、文書館の公開が進み、植民地当局の各種報告書や収集パンフレットへのアクセスが可能になった。そこで、本プロジェクトでは、在マレーシア、シンガポールの各種宗教施設を訪問し、またベトナムの文書館を訪問調査するという方法を積極的に進めた。

4. 研究成果

本プロジェクトで得た主要な成果は以下の通りである。

(1) 研究代表者が編者となり、本プロジェクトの成果として、『中国近代の民衆宗教と東南アジア』(研文出版)を出版した(2021年3月)。マレーシア、シンガポール、ベトナムで活動する華人系宗教団体施設を訪問し、閲覧・収集した宗教文献、ベトナムや台湾に残る文書館調査をつうじて収集した未公開文書を掘り起こし、ユニヴァーサルイズムを唱えた華人系宗教運動の成立と東南アジアへの伝播の過程を跡づけた。

(2) マレーシア、シンガポールなどに伝播した華人系宗教団体の施設を訪問し、各種宗教文献の調査・写真撮影を行った。主要な訪問先は以下の通りである。

ア) マレーシア: ペナンにおいてはベトナム明師道仏教会と系譜を同じくする大圓仏堂、先天道帰根門派の指導者蔡飛の創設した「南島仏堂」、広東清遠県に起源を持つ「金華精舎」において文献・碑刻調査を実施した(2019年9月)。

(3) 図書館・アーカイブズにおける宗教文献、植民地期宗教運動関係アーカイブズ調査。

ア) 台湾・故宮博物院図書文献館、中央研究院近代史研究所図書館等における資料調査。台北の上記図書館において、清末～近代の宗教運動に関する清代檔案資料及び近年台湾において続々と影印刊行されつつある民間宗教文献の調査にあたった(2018年12月)。

イ) オックスフォード大学ボードリアン図書館におけるレッグ関係アーカイブズ調査及び香港大学所蔵ロンドン伝道会関連史料の調査。オックスフォード大学図書館においては、James Legge Collection を閲覧し、宣教師が中国の現地宗教をどう見ていたか、またレッグの中国知識人観について調査した。また香港大学図書館においてはレッグと交流を持った羅仲藩関係史料の調査にあたった(2018年8月)。

ウ) ベトナム国家図書館及びベトナム国家第2アーカイブズセンターにおける資料調査。ベトナム・ハノイの国家図書館において、納本制度を通じて植民地期に収集したカオダイ教関連のパンフレットの調査にあたった(2019年3月)。カオダイ教は、明師道としてベトナムに定着した華南起源の儒仏道三教合一型の新宗教運動から派生した宗教運動であり、キリスト教を加えたシンクレティズムを唱えたことで知られるが、ホーチミン市において、ベトナム国家第2アーカイブズセンターに所蔵されている旧コーチシナ総督府文書を閲覧し、華人関係資料やカオダイ教

関連史料の調査を実施した（2023年2月）。

エ）シンガポール 国立図書館、同国立公文書館、シンガポール国立大学中央図書館、同中文図書館において、独自の宗教思想を有していたシンガポール海峡華人林文慶関係資料等の収集にあたった（2019年3月）。

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計25件（うち査読付論文 9件 / うち国際共著 2件 / うちオープンアクセス 0件）

1. 著者名 武内房司	4. 巻 0
2. 論文標題 ベトナム南部社会と宗教運動	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 岩波講座世界歴史21 二つの大戦と帝国主義II 岩波書店	6. 最初と最後の頁 299-300
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -
1. 著者名 小武海櫻子	4. 巻 80巻3号
2. 論文標題 書評太田出著関羽と靈異伝説：清朝期のユーラシア世界と帝国版図	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 東洋史研究	6. 最初と最後の頁 489-502
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -
1. 著者名 武内房司	4. 巻 0
2. 論文標題 旅行記に歴史を読む：竹越与三郎の見た「インドシナ」	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 学習院大学文学部史学科編『新・歴史遊学』	6. 最初と最後の頁 155-170
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -
1. 著者名 小武海櫻子	4. 巻 0
2. 論文標題 近代東南アジアにおける「先天大道」の伝播：同善社と南洋聖教会	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 武内房司編『中国近代の民衆宗教と東南アジア』研文出版	6. 最初と最後の頁 153-178
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 持田洋平	4. 巻 0
2. 論文標題 日本統治初期のシンガポールにおける紅卍字会の救災活動：『新加坡道院訓文』の発見とその分析	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 武内房司（編）『中国近代の民衆宗教と東南アジア』研文出版	6. 最初と最後の頁 179-205
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 持田洋平	4. 巻 23
2. 論文標題 シンガポール中華総商会の社会的機能の形成	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 アジア太平洋論叢	6. 最初と最後の頁 33-61
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.32312/transasiapacific.23.0_33	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 高柳信夫	4. 巻 36
2. 論文標題 梁啓超の「新文化」前史：一九一〇年代を中心として	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 中国：社会と文化	6. 最初と最後の頁 181-198
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 高柳信夫	4. 巻 0
2. 論文標題 梁啓超と近代中国の『革命』：『革命』の多義性	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 楊際開・伊東貴之編著『「明治日本と革命中国」の思想史 近代東アジアにおける「知」とナショナリズムの相互還流』ミネルヴァ書房	6. 最初と最後の頁 199-215
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小武海櫻子	4. 巻 67
2. 論文標題 表象としての近代中国の民衆宗教：宣教師からみた"救世団体"	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 学習大学文学部研究年報	6. 最初と最後の頁 23-47
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小武海櫻子	4. 巻 19
2. 論文標題 近代中国民衆宗教の書籍ネットワーク考：重慶合川会善堂慈善会刊本目録	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 人文	6. 最初と最後の頁 148-125
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 倉田明子	4. 巻 636
2. 論文標題 香港における中国的価値観の受容と抵抗(3)香港社会とキリスト教：中国との関係性から	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 東亜	6. 最初と最後の頁 70-77
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小武海櫻子	4. 巻 0
2. 論文標題 試析近代南洋華人与救済団体 以同善社為例	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 范純武編『扶鸞文化与民衆宗教国際研討会論文集』博揚文化	6. 最初と最後の頁 345-368
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 武内房司著；孫江訳	4. 巻 1
2. 論文標題 “宝山奇香”考：中国的千年王国論与越南南部の民間宗教	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 曹新宇主編『激辯儒教：近世中国的宗教認同』	6. 最初と最後の頁 pp.208-222
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 TAKEUCHI Fusaji	4. 巻 126
2. 論文標題 Mouvements religieux populaires chinois a la fin de l'Empire et leur interactions avec les traditions locales en Asie du Sud-Est	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Annuaire EPHE, Sciences religieuses	6. 最初と最後の頁 pp.45-50
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 倉田明子	4. 巻 1
2. 論文標題 『万国公報』における中国人知識人のキリスト教観	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 ミラ・ゾンターク編著『グローバル・ヒストリーの中のキリスト教』	6. 最初と最後の頁 pp.195-210
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 倉田明子	4. 巻 22
2. 論文標題 近代中国「間島」地域のキリスト教	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Quadrante クアドランテ	6. 最初と最後の頁 pp.25-34
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 倉田明子	4. 巻 1
2. 論文標題 日占時期的香港天主教之救済事業	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 建道神学院編『国不攻打国：戦争与和平史学論集』	6. 最初と最後の頁 pp.65-86
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 倉田明子	4. 巻 1
2. 論文標題 都市・チャリティ・動物：動物虐待防止条例の成立からみる「香港社会」の形成	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 香港の過去・現在・未来：東アジアのフロンティア	6. 最初と最後の頁 pp.115-126
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 高柳信夫	4. 巻 18
2. 論文標題 「学問」は何のために？ ―1920年代の梁啓超の「新文化」建設構想をめぐる一小論	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 言語・文化・社会	6. 最初と最後の頁 pp.19-39
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 持田洋平	4. 巻 16
2. 論文標題 「国民国家の相対化」を超えて 華人史研究の新たな研究視角の提示を目的とする試論	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 華僑華人研究	6. 最初と最後の頁 pp.7-19
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 武内房司	4. 巻 23
2. 論文標題 清代民衆宗教に見る宗教的回心の諸相：安丸良夫の民衆宗教研究に寄せて	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 アジア民衆史研究	6. 最初と最後の頁 59-69
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 高柳信夫	4. 巻 17
2. 論文標題 梁啓超と中国の「国粹」・「国学」	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 言語・文化・社会 (学習院大学外国語教育研究センター)	6. 最初と最後の頁 1-31
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 宮田義矢	4. 巻 /
2. 論文標題 気功にみる中国宗教の復興と変容	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 藤原聖子編 『世俗化後のグローバル宗教事情』 岩波書店	6. 最初と最後の頁 120-134
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 持田洋平	4. 巻 72/4
2. 論文標題 「国語」教育の分断と連帯：1900年代後半のシンガポール華人社会における初等学堂の設立に関する一考察	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 中国研究月報	6. 最初と最後の頁 1-13
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 持田洋平	4. 巻 15
2. 論文標題 書評 篠崎香織 『プラナカンの誕生：海峽植民地ペナンの華人と政治参加』	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 華僑華人研究	6. 最初と最後の頁 43-47
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

〔学会発表〕 計6件 (うち招待講演 5件 / うち国際学会 4件)

1. 発表者名 武内房司
2. 発表標題 袁志謙與新宗教運動：以無生老母信仰為基礎的三教合一思想
3. 学会等名 國際研討會「救世之術：救世團體的論述與實踐」(成蹊大学)(招待講演)(国際学会)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 小武海櫻子
2. 発表標題 近代檳城的聖教會與華人社會
3. 学会等名 國際研討會「救世之術：救世團體的論述與實踐」(成蹊大学)(招待講演)(国際学会)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 小武海櫻子
2. 発表標題 近代マレーシアにおける青蓮教系民間教派の伝播について
3. 学会等名 日本道教学会(招待講演)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 持田洋平
2. 発表標題 『検疫』・『保護』から『遠隔操作』へ：19世紀後半から20世紀初頭の海峡植民地における移住・移民管理制度の導入過程
3. 学会等名 日本華僑華人学会第20回研究大会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 倉田明子
2. 発表標題 李提摩太與普世基督教：以他對佛教的理解與普世教會合一運動的關係為中心
3. 学会等名 第十一屆近代中國基督教歷史研討會「華人教會與普世基督教」（招待講演）（國際学会）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 小武海櫻子
2. 発表標題 試析同善社在近代南洋的伝道
3. 学会等名 「扶鸞文化与民衆宗教」國際研討會（仏光大学雲起楼301國際會議庁，2018年5月28日）（招待講演）（國際学会）
4. 発表年 2018年

〔図書〕 計3件

1. 著者名 武内房司	4. 発行年 2021年
2. 出版社 研文出版	5. 総ページ数 266
3. 書名 中国近代の民衆運動と東南アジア	

1. 著者名 倉田明子	4. 発行年 2019年
2. 出版社 東京外国語大学出版会	5. 総ページ数 389
3. 書名 香港危機の深層	

1. 著者名 武内房司	4. 発行年 2019年
2. 出版社 学習院大学東洋文化研究所（調査研究報告第67号）	5. 総ページ数 192
3. 書名 阮朝アーカイブズの世界：フランス・ギメ美術館図書館所蔵阮朝地方行政文書を中心に	

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	小武海 櫻子 (KOMUKAI SAKURAKO) (00748874)	成蹊大学・文学部・助教 (32629)	
研究分担者	倉田 明子 (KURATA AKIKO) (20636211)	東京外国語大学・大学院総合国際学研究院・准教授 (12603)	
研究分担者	高柳 信夫 (TAKAYANAGI NOBUO) (80255265)	学習院大学・付置研究所・教授 (32606)	

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8 . 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関
---------	---------